

廃校の利活用についての研修レポート

美里町が一つの小学校に統合した場合、東児玉小学校・松久小学校・大沢小学校が廃校になります。廃校の利活用について、先進地である渋川市と前橋市を訪問し、説明を受けた後、利活用に至るまでの経緯、貸出するにあたって事業者等の選考基準や貸出後の問題などについて、Q & A方式でお話を伺いました。

廃校後の活用については、地域の活性化、町内雇用の創出、地域住民の交流、防災機能としての連携など、地域への貢献が重要です。

渋川市の旧上白井小学校では、渋川バイオマス研究所として、再生可能エネルギープロジェクト及び農業プロジェクトの研究開発拠点として、プロジェクト人員は地元から雇用し、社会見学などの学びの場や地域交流室もあり、2階は災害時避難所になっていました。

前橋市の旧嶺小学校では、イングリッシュビレッジ M A E B A S I（英語村）として、平日は学校団体向け英語体験、英会話教室向け実践、企業向け職員研修などを行い、土日は日本文化の英語発信、小学生向け英語体験などを行っています。



渋川市



前橋市

両市の共通する取組として、市側からの視点、事業者側からの視点により、徹底的に論ずるサウンディング型市場調査を採用し、課題の解決策として市と事業者による直接対話を行い、活用案及び公募要項を作成したうえで事業者の公募を実施しました。いずれも経験に基づいた貴重なお話を伺い学ぶことができ、廃校の利活用を検討するうえで、とても有意義な研修となりました。

文教民生経済常任委員会

副委員長 フジタ ルイジ

広域圏

令和5年児玉郡市広域市町村圏組合議会 第4回定例会

令和5年12月26日(火) 開催

○児玉郡市広域市町村圏組合一般職職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に準じ、一般職職員の給料、期末手当及び勤勉手当を改正するものです。

○令和5年度一般会計補正予算(第3号)

補正額 2,600万5千円
補正後の額 43億9,832万5千円

補正予算の内容は、一般職職員の給与に関する条例の一部改正に伴う職員人件費の補正のほか、債務負担行為の事項、期間及び限度額を定めるものです。

(美里町選出議員 田端恵美子・櫻沢克幸)